

資料 7 - 4 - 1

第 7 次府中市総合計画前期基本計画（素案）前に掲げる導入文案

1 新型コロナウイルス感染症

第 1 章 前期基本計画について

前期基本計画の位置付け

前期基本計画の期間

ウィズコロナ・ポストコロナ時代への対応

令和元年（2019年）に発生し、世界中に感染が広がった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、外出や営業の自粛など、市民生活と経済活動に甚大な影響を与えています。このかつて経験したことのない厳しい状況乗り越え、市民の暮らしを回復していくためには、感染拡大防止と経済再生の両立を図るウィズコロナの視点と、感染症収束後を見据えたポストコロナの視点を持ち各種取組を推進していくことが求められています。

こうした状況に対応するため、感染症により大きく影響を受けている市民生活と地域経済に寄り添い、市民が抱える不安の解消に努めていきます。また、非対面・非接触への市民ニーズの高まりに応じて、新しい生活様式の実践に向けた環境整備を目指すとともに、ベッドタウンとして発展した本市の生活や交通における利便性と豊かな自然環境を兼備している地域特性を活かしたまちづくりを推進していきます。

更に、地域住民による自助・共助の取組を支援することで地域の担い手を増やすとともに、社会的な距離の確保が必要とされる状況下においても、人と人とのつながりを大切にした市民協働の推進を図ります。

前期基本計画に位置付けた各施策の推進に当たっては、これらの視点を踏まえ、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における様々な変化に柔軟に対応し、市民の健康と暮らしを支える取組を進めていきます。

2 行財政運営

第5章 行財政運営に関する施策

行財政運営分野の施策体系図

基本構想に掲げた4つの基本方針に基づき、保健・福祉から都市基盤・産業までの各分野の基本目標の達成に向けて、計画的・効果的に行財政運営分野の各施策を展開していきます。

より良いまちづくりを目指して各施策を円滑に推進していくためには、社会情勢や経済状況、人口構造、市民ニーズなどの外部環境が変動する中でも、限られた経営資源（人材・資産・資金・情報等）を有効に配分及び活用し、最適な状態で持続させる行財政改革の取組も併せて推進していくことが求められます。

こうした視点から、本計画の中に、行革に関する計画を内包することで、重層化・複雑化した計画体系を整理し、他の分野と相互に連動を図りながら、各施策や事務事業を効率的・効果的に推進していきます。